まちの話題
Tarumizu TEA TIME

慈恩保育園の園児たち ショベルカーに初乗車

11 月下旬、慈恩保育園の園児が旭町公用車庫で、重機の乗車体験をしました。これは、毎年行われいるもので、園児たちは、普段は乗ることのできないショベルカーに乗って、重機を操縦する雰囲気を楽しみました。園児は「初めて乗れて嬉しかったです」と話しました。

協和小学校と垂水高校の 交流学習

11 月 11 日、協和小学校で、同校児童と垂水高校生との交流学習が行われました。これは、生活デザイン科の授業の一環で、教育の実践と児童に読書の楽しさを味わってもらおうと同高校が内容を企画したものです。当日は、クイズや『アマビエ』のパネルシアター、絵本の読み聞かせが行われました。児童たちは、興味津々に聞き入り、交流が終わると、笑顔で拍手を送っていました。同高校の生徒は「子どもたちの発達段階を考えて、プログラムを作成しました。楽しんでもらえて良かったです」と話しました。

県選抜野球チームで 九州交流戦準優勝に貢献

11 月 13、14 日、福岡県で、九州・沖縄ブロック交流試合 2021（中学生・軟式野球）が開催され、垂水中央中学校の川井田恵士（けいし）さん（3 年）が鹿児島県選抜の一員として出場し、準優勝に貢献しました。同大会には、同中学校の先生の後押しを受けて、約 100 人が参加したセレクションに挑み、県選抜の 15 人に選ばれ出場しました。川井田さんは「最終メンバーに選ばれるとは思わず、初めて大規模な大会で結果が残せて嬉しかったです」と話しました。

道の駅たるみずはまびら たるたるぱあく 来場者 200 万人達成！開駅３周年！！

▲ 200 万人目の来場者への記念品贈呈式

▲開駅３周年記念感謝祭の様子

11 月 14 日、道の駅たるみずはまびらの来場者が 200 万人を突破し、200 万人目の来場者へ記念品が贈呈されました。200 万人目となった来場者は「オープン当初に訪れた際に桜島、開聞岳、錦江湾が一望でき、とても良いところでしたので、また寄ってみました」と話しました。

また、21 日から 23 日、開駅 3 周年記念感謝祭が開催されました。日頃の感謝を込めた各店舗での記念セールや、お楽しみ抽選会等の様々なイベントが行われ、多くの人で賑わいました。来場者は「美味しい食べ物があり、様々な物が揃っていて、とても充実していました。また訪れたいです」と話しました。

今後も関係する皆様と一緒になって、本市の南の拠点として、より多くの方々に愛される道の駅づくりを推進していきます。多くの皆さんのご来場をお待ちしております。

水之上小学校の児童たち ふるさとの良さ再確認

11 月 19 日、水之上小学校の３、４年生の児童 32 人がふるさと垂水見学学習を行いました。これは、本市の生活環境や自然環境を学び、ふるさとの良さを見つめ直し、誇りに思う心を育てる目的で同校が企画したものです。内ノ野浄水場では４年生が自然条件をいかした浄水場の説明を受け、水道水が提供される仕組みを学びました。児童は「浄水場の仕組みにびっくりしました」と話しました。新しい発見もあり、ふるさとの良さを実感する学習となりました。